

宝探しに出かけよう

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で保育園や幼稚園、学校などで開催されるはずのレクリエーションや運動会が軒並み縮小や延期、中止などの対応を余儀なくされました。

なかまでも活動を考える際に、お互いの距離感は大丈夫か…同じ空間に長時間いると感染のリスクが高まるかもしれないからやめておこう…などなど活動を考える上でリスク管理が大きな障壁となりました。

そこで、屋内での遊びから屋外での遊びに視点を変えることで、距離感や時間的な制約を気にすることなく、楽しい活動を提供できるのではないかという発想から、屋外での『宝探し』に辿り着きました。

『宝探し』は秩父学園の敷地を利用して行いました。子どもたちには集めて欲しい宝の台紙（集めたカードを貼り付ける）とその宝が隠された10か所の場所が示された地図を手渡し「どこに、どのような順序で探しに行くのか、みんなんで協力・相談しながら進め下さい」と説明して始めてもらいました。

いざ宝探しが始まると日頃は無口で他のお子さんの意見に受容的なお子さんが、急にリーダーシップをとって「あっちにありそうだから行ってみよう♪」などと普段とはまったく違う一面を見せてたり、散歩ではフラフラと道草しがちなお子さんが同じようにテキパキと目的地を目指して歩いていたりする姿に驚きと意外性を感じることができました。

タイムスケジュール	
開始時間	予定
15:45	台紙や地図の配布
	視覚教材を使ったルール説明
	宝探し
	成果の確認
16:30	終わりのあいさつ

目次

- 事前準備
…環境設定の大切さ
- チーム作りが成功への第一歩
…お子さん一人ひとりに役割を与えることで相乗効果を狙う♪
- 動機付けを高めるための工夫
…好きなキャラクターでモチベーションアップ♪♪
- ヒントを出すスタッフを配置する
…どうしても見つからない時のお助けマン♪♪♪



事前準備

● 環境設定が大事

【配置の工夫】

- ① 何を何個探せばいいの視覚的に提示する（※台紙に印刷するキャラクターは薄めに印刷し手がかりにしよう）
- ② 写真を示してイメージを固める
- ③ 宝の地図で全体像を把握しよう



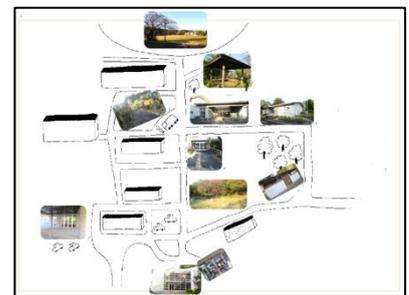
宝（キャラクターのカー

① 見つけた宝を張る台紙

（台紙の印刷を薄くする）と宝



② カードが隠されている場所



③ 宝の地図でモチベーションを上げる

チーム作りが成功への第一歩

● 誰がリーダー？！相乗効果を狙おう！

私たちはチーム作りをするときに、ある程度柱になるリーダーシップのあるお子さん、そのリーダーをしっかりとフォローするお子さんなど一人ひとりのお子さんに期待する役割を想定してチーム作りを行います。

実際に行った『宝探し』での子どもたちは、私たちの期待を超える活躍を見せてくれました。

“楽しい × 期待 = 驚くような相乗効果” を目の当たりにすることができますよ。

● 配慮すること

● リーダー、サブリーダーなどのメンバー構成に配慮する

→ 一人ひとりのお子さんの強みを理解した上で、チームを構成することが重要です。そうすることで個性と個性のケミストリーを発生させ、チーム力は2倍4倍と大き力を発揮することにつながります♪♪♪。

動機付けを高めるための工夫

●好きなキャラクターでモチベーションをアップする！！

宝とはそのお子さんにとって興味関心の強いものでなければなりません。そのためには事前に各お子さんの好きなキャラクターについて把握しておきましょう。

●配慮すること

●個人の趣味嗜好を把握する

→参加するお子さんの趣味嗜好を事前に把握する。

→一人のお子さんの好きなものが他児の好奇心を刺激し、全体的に興味関心の幅が広がります。



宝 (キャラクターのカード)

ヒントを出すスタッフを配置する

●どうしても見つからない時に頼れるフタッフを配置しよう (笑)

遊園地を歩いているといつもはなかなか会えない出現率の低い人気キャラクターに遭遇する、なんてことが稀にあると思います。今回の『宝探し』でも、その隠れレアキャラを設定することで、ワクワク感とドキドキ感をプラスしました。レアキャラに遭遇すると1チーム一回だけ宝の場所を教えてもらえるという名付けて“労せずお宝ゲット特典”を設けました。目的地へ移動している途中でレアキャラと遭遇したチームからは「キャアー！！」とか「ヒントちょうだい！！」など大はしゃぎしていました。



●配慮すること

●なかなか見つけれられない状況も想定したフォロー体制を準備しておく

→広大な敷地の中で決められたお宝を発見するには時間を要します。なかなか見つけれられず集中力や気力が一時的に低下する事態も考えられます。そのため、レアキャラには“遭遇する楽しさ”に加え“進行の流れを調整する”という役割も担ってもらいました。偶然を装い進行が滞ってるチームに近づきヒントを与えることで、どのチームも必ずゴールを迎えられるという配慮が必要です。

● 私たちが大切にしたこと！！

① 「環境設定の大切さ」

…場所選びは慎重に行う。ルールを視覚化、順序化し、子どもたちが何をすればよいか分かるよう具体的に説明する。

② 「チーム作りが成功への第一歩」

…事前に各お子さんの好きなキャラクターについて把握しておく。一人のお子さんの好きなものが他のお子さんの好奇心を刺激し、全体的に興味関心の幅を広げる。

③ 「ヒントを出すスタッフを配置する」

…レアキャラには“遭遇する楽しさ”に加え“進行の流れを調整する”という役割も担ってもらおう。進行が滞っているチームにヒントを与えることで、全チームをゴールへ導く。

